

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 大牟田市立田隈中学校
 種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 所在地 〒 837-0916
福岡県大牟田市大字田隈338番地
 E-mail takuma-ed@st.city.omuta.fukuoka.jp
 Website _____
 児童生徒数 男子 277名 女子 268名 合計 545名
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 福祉、キャリア ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

人類の平和や多様性の尊重等を、遠い未来までその営みを続けていくための学習をする。学年ごとに福祉教育（1年）、職場体験・国際平和学習（2年）、進路学習・保育実習（3年）を核にすえ、体験活動を積み重ねていく。これらの課題を自らの問題として捉え、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくこと（think globally, act locally）を身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動をする。グループ学習や個人研究などの多様な学習形態から発表や討論までの流れを作り、地域の人々の協力も得つつ全教師が共通理解のもと一体となって指導にあたる。そのために、あらゆる方面から情報を収集したり、GTを依頼したりと、生徒が興味や関心をもって取り組むことができ、課題解決に向けて意欲がわくような学習プログラムを設定していく。

（1年生）

「大刀洗平和記念館訪問を通して、平和について考えよう」

本校では、人権・平和を考えることで、ESDの学習を進める。まず「大刀洗平和記念館」を訪問して、命の大切さについて考えるために、戦争、特攻の歴史を講話や映像でより詳しく学びました。生徒は家族のことを最後まで心配して亡くなっていった特攻隊の若者と自分を重ね合わせて、これから二度とこのような思いをいえないですむために、自分たちは何をすべきかを真剣に考えました。

（2年生）

「広島への修学旅行を通して、国際平和について考えよう」

修学旅行に行く前に、戦争や原爆の悲惨さ、平和や命の尊さ・大切さを学び、これから未来に生きる自分たちが国際社会の中で何ができるのかを考えました。そして、以下の活動を行いました。

- ・千羽鶴作り
- ・広島に行くにあって、これから自分にできることを考える。
- ・ユネスコがんばろい会の方から、国際社会における平和のあり方の話を聞く。
- ・身近な人の戦争体験を聴き、レポートを作成し、代表が発表する。
- ・自分たちの思いをまとめ、平和宣言文を作り、国際連合に届ける。
- ・外国の方と交流し、平和に対する話を聞くことによって、これから先、国際社会ではどのように平和貢献ができるか考える。
- ・広島についてのDVDを見る。

実際に広島原爆資料館を見学し、館の方の話を聞き、具体的な原爆や被害に遭われた方の状況を知りました。具体的に自分たちに何ができるのかをそれぞれ考え模造紙にまとめ発表しました。

（3年生）

「1日高校訪問をしよう」

田隈中学校の近隣の高校について理解を深めたり、知り得た情報をもとに、自分の進路選択について考える機会とすることを目的に以下の活動を行った。

- ・近隣の8つの高校・高等専門学校の中から、1校を希望で選び、訪問しました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）